

学校だより

翔空

No. 7 平成23年 6月10日(金)
郡山市立喜久田中学校長 川島 宏

「翔空」の由来

校舎のシンボル

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

市中体連陸上競技大会 大活躍!

鏡石町鳥見山陸上競技場
5月31日(火)

放射線の影響で4月は校庭が使えず、例年のような多くの選手を参加させることができず、残念な思いをしていました。それでも5月の中旬から、12~3名が朝と放課後、実質1時間半ほどの練習をしてきました。今年は県大会出場危うし、せめて入賞をと思っていましたが、思いの外活躍してくれました。



- 走り高跳 2位: 添田 恵悟 1M66
- 砲丸投 2位: 影山 博樹 9M06
- 4種競技 4位: 遠藤 久仁 1159点
- 110MH 6位: 国分 雄大 19'87
- 走幅跳 8位: 遠藤 克之 4M87



※4位までが県大会出場権を得ましたので、7月2~3日県通信陸上競技大会(あづま)、7月25~26日県中学校陸上競技大会(信夫が丘)に出場する予定です。さらなる記録の更新を期待します。

校庭の表土の再除去作業のお知らせ 【地域・保護者の皆様へ】

4月30日に表土の除去作業をしてからは、それまでの数値が半減し、0.9~1.2ぐらいに落ち着きました。その後継続して校庭の4隅と中央の5カ所を毎日測定していますが、現在場所により0.8~1.2と微妙に違いますが、平均すると1.0前後というところでは、1.0以上のところは、表土を削るということでしたので、本校もお願いして再度削ってもらえることになりました。

◎日時 6月14日(火) 8:30~

- 前日の夕方、大型車輛が搬入されます。
- 削った土は、現在と同じところに仮置きし、日を開けずに穴を掘り、遮断シートで包み、その上に掘った土をのせ、さらに猪苗代のきれいな土を10cmほどかぶせる処置を施すとのことです。
- ※学校周辺の皆様には、前回と同様、大型車輛や作業員が入りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「なぜか間違える日本語」から 好評につき第8弾(青春出版社)

【勘違いしやすい間違い言葉】

- 1 鼻にもかけない: 鼻もひっかけない
- 2 蘊蓄を注ぐ: 蘊蓄を傾ける
- 3 印籠を渡す: 引導を渡す
- 4 身命を投じて: 身命を賭して
- 5 小癩にさわる: 癩にさわる
- 6 狐につかまれる: 狐につままれる
- 7 予防線を引く: 予防線を張る
- 8 苦みつぶした表情
: 苦虫をかみつぶした表情
- 9 愁眉をつくる: 愁眉をひらく
- 10 想像力をかり立てる
: 想像力をかき立てる

「引導を渡す」は、見込みがないことを伝え、あきらめさせること。

「引導」は、葬儀の際、死者が悟りを得るよう導師が唱える法語。一方、「印籠」は、腰に下げる、印や薬などを入れた小箱(TV水戸黄門の最終場面に出るもの)。音は似ているが全く別物である。

屋外プールの使用中止について



このことについて、郡山市教委から、以下のような通知がありましたのでお知らせいたします。

「市立小中学校の屋外プールの使用中止について(通知)」平成23年6月3日

このことについて、これまで市立小中において、できるだけ肌の露出を学校における指導し、屋外での活動時間を制限してきたことから、今年度の各学年における屋外プールでの水泳学習は行わないこととします。なお、代替え措置として、全児童生徒を対象に、市施設の屋内プールや市内のスイミングスクール、フィットネスクラブのご協力をいただき、水泳学習を行っていただく予定です。利用施設の学校配当や移動手段の確保については後日改めて通知します。

現在、プールの排水もままならぬ状況です。市教委の指導を待って対応していきます。ご理解ください。

※「なぜか間違える日本語」正解は右側

